横浜市病院協会　第27回 学術講演会

参加費無料
どなたでも
受講できます！

「今、社会が求める新たな診療、治療と仕事の両立支援」

日本の労働人口は、2025 年の 6149 万人から 2040 年には 5268 万人まで減少すると予測されています。
企業を対象とした調査によると、疾病を理由に休職している従業員を抱える企業の割合は年々高まっており、新たに病気休職制度を利用した労働者のうち、38%が復職せずに退職に至っています。今後も疾病のリスクを抱える労働者が増加することが見込まれており、この難局に立ち向かうために、病気の人も安心して働き続けられるような仕組みを社会に浸透させなくてはなりません。
これまで「療養・就労両立支援指導料」の対象疾患は限定されていましたが、令和8年度診療報酬改定により、その対象が全ての疾患へと拡大されました。国を挙げて推進されている、治療と仕事の両立支援。その重要性と、私たち医療従事者に求められる役割についてお話しします。

講　師

萩原　悠太　氏

聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院
脳神経内科　部長、准教授



＜略歴＞
聖マリアンナ医科大学卒業。2010 年　同大学脳神経内科入局後、2023 年より現職。
脳神経内科医師として検査・診療を行うだけでなく、患者さんが可能な限り治療と就労を両立できるよう配慮する「両立支援」をライフワークとして取り組んでいる。

＜学会・資格＞
日本神経学会神経内科専門医・指導医、日本脳卒中学会脳卒中専門医・指導医、
日本内科学会総合内科専門医、日本超音波医学会超音波専門医、医学博士

日　時

【ライブ配信（Zoom）】
令和9年2月8日（月）16時～17時30分（質疑応答含む）
【録画配信（Youtube）】 2月 22 日（月）～3月 15 日（月）まで

申込方法

URL（ https://x.gd/N7FDq ） 又は QR コードの参加申込フォームから
お申込みください。（11 月 11 日より申込可）
※ライブ配信視聴の申込者には2月2日頃、録画配信視聴の申込者には2月 19 日頃、お申込みいただきましたメールアドレスに視聴 URL をお送りいたします。

申込締切

令和9年1月 28 日（木）

主　　催　　公益社団法人横浜市病院協会
問合せ先　　TEL　045－250－5717